

特別講演会 ②

- 日 時：10月19日（土）13:00～15:10
- 会 場：宇治おうばくプラザ1階 きはだホール
- 定 員：300名（先着）

■ プログラム

13:00～13:40 「光をつくる・操る：レーザーが世界を変えていく」

化学研究所 教授 時田 茂樹

要 旨：私たちの豊かな生活を支えるために、レーザーが様々な分野でなくてはならない存在になっています。皆さんが日ごろ目にしている光と、レーザーは何が違うのでしょうか？本講演では、世の中で広く使われているレーザーの基礎の基礎をわかりやすく解説します。また、世界を変え、ノーベル物理学賞の受賞対象となったレーザー技術や、今後大きく世界を変えていく最新のレーザーの話題を紹介しながら、光科学の魅力を伝えます。



13:45～14:25 「シロアリのコミュニケーション」

生存圏研究所 教授 大村 和香子

要 旨：木材害虫として知られるシロアリは、高度な社会生活を営む昆虫としても知られています。シロアリは、様々な情報化学物質＝フェロモン等や自らのカラダを奮わせたり、頭をモノにぶつけることで発生させた微小な‘音・振動’を使って、巣仲間に餌のありかや身の危険を知らせています。本講演ではこれらのコミュニケーション方法についてお話することで、シロアリのユニークさを理解していただこうと思います。



14:30～15:10 「地球温暖化で豪雨災害はどうなる？そしてどうする？」

防災研究所 教授 中北 英一

要 旨：産業革命以前に比べて地球の平均気温はすでに1.2度ほど上昇しています。そのため、台風や梅雨による我が国の豪雨は、総雨量において6～10%強が地球温暖化によって多くなっています。2012年には京都亀岡・京都市や宇治市でも線状降水帯による豪雨災害に見舞われました。こういった豪雨も今後、総雨量だけでなく強度も頻度も増えます。地球平均気温が2度上昇、4度上昇の世界では一体どうなるのでしょうか？そして、私たちはどうすればよいのでしょうか？2度上昇の世界までにはもう25年ほどしかありません！

